

法人（事業所）理念	障がいのある子どもたちが地域の中で夢や目標をもって自立した生活が送れる社会の実現を目標とし、お子さん一人ひとりの可能性を大きく広げるサポートを行います					
支援方針	・発達課題を5領域にに分けた小集団活動を通して楽しいことを経験します。 ・5領域から個々に合わせた個別支援を設定し、就学までの学習の基礎を学びます。					
営業時間	10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善 粗大運動を取り入れ、体力や運動能力向上の支援を行います。 ・基本的な生活スキルの獲得 衣類の着脱、靴を下駄箱に入れる、ロッカーに荷物を入れる、手洗い、おやつ時やトイレのマナーなどを活動の中で取り組みます。 ・生活習慣や生活のリズムの形成				
	運動・感覚	・保有する感覚の活用・感覚の特性への対応 基礎感覚を活用する活動を多く取り入れ、活動を通して感覚の統合を促進します。 ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 小集団での活動の中で、歩く、走る、跳ぶなどの基本的動作の習得を支援します。 ハサミやノリを使い創作活動や様々な教材を使い、手先の強化を図ります。 ボタンやスナップ、結びなど生活のスキルの向上を図ります。				
	認知・行動	・一人ひとりの認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定を行います。（スケジュールやルール指示など視覚的なツール） ・形、色、大小、比較、順序、文字、数、空間認知、時の概念、などをゲーム感覚で楽しく学習します。 ・小集団の中での活動や遊びを通して、適切な行動を習得します。				
	言語 コミュニケーション	・言語の形成 フラッシュカードを見ることで、名詞、動詞、形容詞、反対語など言葉と物や動作のマッチングを図り、語彙数を増やします。 簡単な質問にこたえてもらう、自分から要求がだせるなど言葉を発してもらうことで話す楽しさを学んでもらいます。 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上・コミュニケーション手段の選択と活用 言語によるコミュニケーションではそれぞれのレベルにあった問いかけ、言語によるコミュニケーションが難しい場合はそれぞれに合った方法（絵カードなど）で支援しています。				
	人間関係 社会性	・遊びを通じた社会性の発達 お友だちとの関わり（遊具の貸し借り）（意思表示）により、社会性の向上を支援します。 ・ソーシャルスキルトレーニング 順番待ち、他人をほめる、勝ち負けなど適切な行動の型を提示し、模倣による習得を目指しています。 感情のコントロール				
家族支援	グループ活動では、療育を見学してもらい、お子さんの様子やスタッフの対応の仕方を見てもらいます。 個別療育では、一緒に療育に参加してもらい、内容を保護者と共有します。 児童の発達・支援内容・家庭生活・集団生活・学習支援などに関する相談や 助言等を行います。			移行支援	お子さんの様子や療育内容を幼稚園、保育園の先生と共有し、関わり 方などを共有します。 事業所で習得したスキルを学校で活かせるように支援を行います。	

<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育成者向け研修 <ul style="list-style-type: none"> ①保護者対応（効果的なフィードバックについて） ②職務責任について ・新人研修 <ul style="list-style-type: none"> ①ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ②制度に関する研修 ③療育に関する研修 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修 <ul style="list-style-type: none"> ①虐待防止（身体拘束）に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④災害に関する研修
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会（保護者） ・クリスマス会 ・夏祭り 		

法人（事業所）理念		障がいのある子どもたちが地域の中で夢や目標をもって自立した生活が送れる社会の実現を目標とし、お子さん一人ひとりの可能性を大きく広げるサポートを行います。						
支援方針		5領域から個々に合わせた個別支援を設定し、「学習の基礎」「コミュニケーション」「金銭管理」「時間管理」など地域の中で生活していくための、基本的スキルを身に着け、心身ともに健やかに成長していけるようにサポートしていきます。						
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none">健康状態の維持・改善 手洗い・うがい指導を行う日常生活スキルの習得 衣類の着脱・靴を下駄箱に入れる・ロッカーに荷物を入れる・自分の持ち物の管理生活リズムを整える						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">姿勢・動作の基本的技能の向上保有する感覚の活用日常動作の向上 食具や道具の使い方などの習得						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none">一人ひとりの認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定 スケジュールやルール指示など視覚的なツール形、色、大小、比較、順序、空間認知、時、数、文字、お金の概念などの理解						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">言語の形成 フラッシュカードを見ることで、名詞、動詞、形容詞、反対語など言葉と物や動作のマッチングを図り、語彙数を増やす 簡単な質問にこたえてもらう、自分から要求がだせるなど言葉を発してもらうことで話す楽しさを学ぶコミュニケーションの基礎的能力の向上・コミュニケーション手段の選択と活用 言語によるコミュニケーションではそれぞれのレベルにあった問いかけ、言語によるコミュニケーションが難しい場合はそれぞれに合った方法（絵カードなど）で支援挨拶や日常会話の習得						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none">ソーシャルスキルトレーニング 他者との関わり・地域でのマナー・困った時のヘルプの出し方などを学ぶことで社会性の向上を図る感情のコントロール 対処法を一緒に考え、支援する						
家族支援		療育終了後、内容を保護者と共有 児童の発達・支援内容・家庭生活・集団生活・学習支援などに関する相談や助言等を行う			移行支援		お子さんの様子や療育内容を学校と共有し、関わり方などを共有して 事業所で習得したスキルを学校で活かせるように支援する	

<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育成者向け研修 <ul style="list-style-type: none"> ①保護者対応（効果的なフィードバックについて） ②職務責任について ・新人研修 <ul style="list-style-type: none"> ①ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ②制度に関する研修 ③療育に関する研修 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修 <ul style="list-style-type: none"> ①虐待防止（身体拘束）に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④災害に関する研修
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会（保護者） 		